

△産業宣教/金土日時代のやぐら 47 重職者やぐら(使 11:19)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 47 レムナントのやぐら(イザ 62:6-12)	△核心 1 千やぐら - 1 千弟子(雅 4:1-5)							
<p>△今年は朝にすべてのことを回復する時間を持たなければならない。50 を超えて、更年期が来れば、すべての細胞、ホルモンに変化が起こる。より重要なことは、靈的に弱くなる。朝の準備をしながら祈りの中に入って長く呼吸して、寝て壊れた肺、脳細胞を回復させなければならない。根源的な力を回復しなければならない。</p> <p>絶対やぐら(御座化-世界化) すると、ある日、絶対やぐらに変わる。御座化になり、私に御座化の力が起こる。この祈りを続ければ、世界を生かすことができるサミットになって、世界を癒やして、世界未来を見る祝福が与えられる。</p> <p>絶対旅程-7P(屋) 皆さんの職業、祈りがどこへ行かなければならぬのか。神様が祝福されるしかない 7 ポイントに会うのが屋だ。これ(7P)を見つけるために受容、超越、許すのだ。</p> <p>絶対道しるべ-再挑戦(絶対不可能) 絶対道しるべを建てる答えが与えられる。この絶対やぐら、旅程、道しるべの目標が絶対不可能に再挑戦することだ。すでに絶対やぐらと旅程の力を持っているので、絶対不可能を見れば何かが見える。そのまま置いておいたが、再生産が続いて起こる弟子を立てなさい。結局、再創造するのだ。これをもとにあらゆる事を終える夜にするのだ。絶対道しるべということは、300%が入っている。</p> <p>「重職者やぐら」(11:19) このような祝福の重職者のやぐらを作りなさい。絶対やぐら、旅程、道しるべをする弟子を一つの地域に一人だけ立なさい。ステパンのことから起こった迫害によって散らされた者が集まつたのに、世界を変えるアンティオキア教会になった。この道を、どんな内容を持って進むのか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 使 1:1-8 神様が絶対ミッションを与えられたのだ。 使 2:9-11 絶対答えが来たのだ。 3:6-17 “ただ証人” この重職者産業人が出て行ったが、祭司まで悔い改めることができた。ただ証人 4. 使 11:1-18, 11:19 “世界ターニングポイント” ほとんどの重職者が福音ではないことを握っている。霧囲気、世論について行つてはならない。そこから抜け出した(使 11:19)人々が世界ターニングポイントを作ってしまったのだ。 5. 13:1-4 “時代ターニングポイント” マケドニアに行く前に時代ターニングポイントを開く伝道運動が起こった。 <p>□結論 私の産業、学業、職業がこの祝福を味わわなければならぬ。 1. 隠されたチームに会つて、 2. 隠された門を見るのだ。 3. 隠された未来がある。</p>	<p>口序論 1. サタンのやぐらが建っている。イエス様がサタンがあなたの中に家を作っていると言わされた。パウロも要塞があなたの中にあると言つた。特にサタンの 12 の戦略が入っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 やぐら、7 旅程、7 道しるべを建てなければならない。 3. 絶対やぐらが建つて、絶対旅程を持って、絶対道しるべが流れることが答えた。 <p>口本論 1. 申 6:4-9 イスラエルが荒野で最後の時間を過ごすとき「あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。そして、今まであったことをあなたの子どもに教えなさい」「手首に、額に、壁にどこでも道でも見るようになさい」刻印させてしまひなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> I サム 7:1-15 ミツバ運動だ。「すべてのイスラエルは主に立ち返りなさい」言い訳してはならない。ペリシテのせいではない。神様が未来のために必要なことを与えられたのだ。 II 列 6:8-24 ドタンの町運動。エリシャは 2 倍の靈(長子の分け前)を求めた。 <p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 47 一つの地域 - 一人の弟子(使 14:14-20)</p> <table border="1"> <tr> <td>一人の弟子</td> <td>一つの地域に一人</td> <td>3. ローマに行く前にヤソン、の弟子だけ見つけねば良い。</td> </tr> <tr> <td>1. 神様がリストラでテモテ、</td> <td>4. ブリスカを備えられた。</td> </tr> <tr> <td>2. マケドニアにリディア、</td> <td>5. 別に弟子を備えておかれた。これをすれば良い。</td> </tr> </table>	一人の弟子	一つの地域に一人	3. ローマに行く前にヤソン、の弟子だけ見つけねば良い。	1. 神様がリストラでテモテ、	4. ブリスカを備えられた。	2. マケドニアにリディア、	5. 別に弟子を備えておかれた。これをすれば良い。	<p>牧師とレムナント、重職者は、一生の祈りの課題を握りなさい。1 千やぐら、そこに弟子一名ずつ見つけねば良い。</p> <p>口序論 1.これをしようすれば、今どんなことが起こっているのかから知らなければならぬ。 1) 祈るときに考え、心にあることが脳(からだ)、靈、御座に刻印される。 2. 御座のやぐら、御座の旅程、道しるべが成り立っている。 3. この祈りを毎日しているなら、絶対やぐらができる、絶対旅程を進み、絶対道しるべが建つ。祈りと答えが簡単になる。</p> <p>△これ(序論)は朝、昼、夜に味わうことだ。</p> <p>祈つて常につなげなければならないこと-12 世界教区、70 大教区、1 千やぐら 常に味わうこと-300%準備-続けて編集すればみこぼが見える。続けて味わつていれば、祈りが見える。それが設計だ。いよいよ現場が見える。デザインだ。</p> <p>口本論 特別伝道チームを構成して 1 千やぐらを建てていくのだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ダビデ(雅 4:1-5) - ダビデが建てた 1 千やぐら <ol style="list-style-type: none"> 国を守るやぐら 危機に直面している人生を生かすこと 祈り場、憩い場 世界やぐら(I 歴 29:10-14) - 神殿準備 <ol style="list-style-type: none"> 3 庭 金土日 黙想時代がここから出る。 教会-絶対やぐらができる。 <ol style="list-style-type: none"> 使 2:41 この契約を握つて祈つたが 3 千弟子を生かす祝福を受けた。 使 6:7 大勢の祭司が立ち返り始めた。 使 11:19-30 アンティオキアで時代を変える門が開き始めた。 使 13、16、19 章神様が絶対やぐらを建てられた。 使 19:21、23:11、27:24 ローマ、カエサル-地の果てまで見たのだ。 <p>△特別チームが構成された後に起こつたことだ。それで良く考えて選んでみなさい。どんな伝道チームを立てるのか。絶対やぐらを建てなさい。聖書にある答えを今年は回復しなければならない。私の人生に何度も葛藤が生じるときがあった。そのとき、伝道に対して 300%を準備したのだ。牧師はしてみなさい。</p>
一人の弟子	一つの地域に一人	3. ローマに行く前にヤソン、の弟子だけ見つけねば良い。							
1. 神様がリストラでテモテ、	4. ブリスカを備えられた。								
2. マケドニアにリディア、	5. 別に弟子を備えておかれた。これをすれば良い。								

△区域メッセージ第 1 週 神の創造の力 - みことば(創 1:1)	△聖日 1 部 女の子孫(創 3:1-15)	△聖日 2 部/国内伝道委員会献身礼拝 箱舟を作らなければ(創 6:1-14)
<p>△区域メッセージ第 1 週 神の創造の力 - みことば(創 1:1)</p> <p>私たちには神様が今日この場まで私を導かれた感謝と証拠、すると、会う人に必ず証人になって、証しをすればそれを聞いて変化が起こる。また、私たちには神様が今まで、先週に私に与えられたみことばを確認しなければならない。その間に神様の創造の力が現れるが、それがみことばだ。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. みことばは三位一体の神様の創造、救い、力を言う。 2. 時空を超える力だ。 3. 過去、今日、未来、現場、世界を生かすようになる。 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創造の力 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 1:1 みことばで天地を創造されたのだ。 2) ヨハ 1:1-2 みことばが神様。 3) ヨハ 1:14 みことばが人となられた。 4) ヘブ 4:12 みことばは生きていて力がある。 5) イザ 40:31 みことばを読む者、聞く者は幸い。わたし主のことばは永遠に立つ。ただ主を待ち望む者は新しい力を得る。 2. 成就-みことばを成し遂げる神様は目に見えない。見えればにせ物だ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 1:27、創 2:7 みことばは私のたましいの中に私の中に必ず成就する。私にいのちの息を吹き込むように。 2) イザ 40:27-31 主を待ち望む者は鶯のように翼を広げて上る。少し苦難があるように見えるが訓練だ。 3) 使 1:8 御座のやぐら、旅程、道しるべを説明したのだ。 3. 私たちの中に動き-この中にいれば <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 1:12-14 みことばが私たちの中に働いているが、私たちがこの中にいなければならぬ。マルコの家でひたすら祈りに専念した人々、契約を持っている人だけ来た。それが世界を変える道だった。 2) 使 2:1-18 三つの祭りとともに聖霊に満たされ、異邦人の門が開き、未來が見え始めた。 3) 使 6:1-7 この人々を神様が生かす現場に送られた。その中にいれば、神様が最高の答えを与える位置に立っているようにされる。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 祈りでやぐら、旅程、道しるべを建てれば良い。開かれれば行けば良い。 2. 互いに疎通する祈りをしなければならない。必要ならばリレー祈りもすれば良い。 3. 世界教区、70 大教区、なぜ 12 使徒を立てたかを牧師は知らなければならず、なぜ 70 長老を立てたのか重職者は知らなければならない、すると 1 千やぐらや、なぜ会堂を建てたかを分かれば良い。 	<p>△聖日 1 部 女の子孫(創 3:1-15)</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福音を受けたが、福音を味わうことができなくて、福音の生活を送ることができなかつたイスラエル <ol style="list-style-type: none"> 1) 奴隸に行ったとき、福音を確認するようにされた神様-血のいけにえ(出 3:18) 2) ペリシテに次世代が苦しめられたとき、サムエルを通して血のいけにえを献げるミツバ運動をされた神様(I サム 7:9-10) 3) 捕虜になって行ったとき、処女が身ごもって男の子を産む。その名をインマヌエルと呼ぶ(イサ 7:14) 4) ローマに属国になったとき、あなたは生ける神の子キリストです(マタ 16:16) 2. とうてい理解できないことをなさったイエス様-どれが福音なのかを見なさい <ol style="list-style-type: none"> 1) チンピラだったがみことばを慕い求めてみことばを聞こうとした取税人と食事 2) ツアラート患者を治して、食事されたイエス様 3) 痢瘍した女を赦してくださったイエス様-福音は悟らせて生かして証人として立つようにすることだ。 <p>※皆さんの考え方と生活は、パリサイ人とイエス様のどちらに似ているのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 2 千年間、國を失ったイスラエルの次世代-福音の脈を逃せば次世代にわざわいが臨む。それゆえ、レムナント運動にいのちをかけるのだ。 <p>□本論_子どもたちとフォーラムすべきこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創 3:15 女の子孫キリスト-原罪解決 <ol style="list-style-type: none"> 1) 福音を識別できないから、小さな成功にぶらさがって福音がないエリートが恐ろしい存在になるのだ。 2) 律法主義のために福音を逃す。律法は私を悟らせることだ。 3) 神秘主義に陥る。福音なしで神秘主義をすれば悪霊に取りつかれる。 4) 当然成功しなければならないが、世の中の奴隸ではないと教えなければならない。 5) 女の子孫を分からなければ原罪解決ができずサタンの奴隸になる。ここに関心がないことが問題だ。 2. 出 3:18 運命が変わらなければならない。サタンに引っかかった事件から出なければならない。 3. イサ 7:14 福音で再創造の力を備えなければならない。証人になって心を定めなければならない。 4. マタ 1:19-23 インマヌエル <ol style="list-style-type: none"> 1) 受肉されたキリスト(ヨハ 1:1-14) 2) その名を信じる者-神の子ども(ヨハ 1:12) 3) 神様の宮、神様の聖霊があなたがたの中に(I コリ 3:16) 5. マタ 16:16 キリストの福音 <ol style="list-style-type: none"> 1) 天国の大鍵 2) 教会 3) よみの力が勝つことができない。 <p>△私たちの次世代に世の中のどこに行っても勝つことができる答えを与えてなければならない。</p> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最高の祝福、最高の答え-世界福音化、次世代を生かすこと 2. 朝(最高の時間)、昼(真の幸いな時間-出会い)、夜(最後の作品を作る時間) 3. ひとりの祈り 	<p>△聖日 2 部/国内伝道委員会献身礼拝 箱舟を作らなければ(創 6:1-14)</p> <p>私たちには神様のために何かをすると話す。しかし、実際には私たちの力と背景は神様には必要ではない。神様は大きなわざわいを防ごうと箱舟を作りなさいと言われたのだ。</p> <p>□序論_危機</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あなたのために(14) 2. 子どものために(18) 3. 次世代のために箱舟を作りなさい(20) <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ネフィリム時代をはやく防ごうとされる神様 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 3:4-5(私)(始まり)-ネフィリムは「私」ということで入り込む。私の考えすべてのことをしようとする。これだけ祈って変えても答えは大きく与えられる。「神様の計画が何か、神様が私を用いてください」 2) 創 6:4-5(ネフィリムで入り込んだ)-福音がない力ある者、シャーマンを作ることだ。 3) 創 11:1-8(バベルの塔)-みな崩れることだから、救われる者のため箱舟を作りなさい。 2. ネフィリムの病が全世界に広がるので箱舟を作つて防ぎなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 1) サタンに捕えられた者はものすごい問題を起こす。 2) 悪霊に取りつかれた者を動かす。正しいように見えるが間違っている。 3) せざるをえない病気として現れるのだ。 <p>△これを癒やすことができる使命が教会と皆さんに与えられた。それゆえ、本格的なみことば運動、1 千やぐらを建てなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. ネフィリム文化を止めなければならない。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 箱舟の中に入つて来さえすれば生きる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 使 2:14-21 だれでも主の名を呼ぶ者は救われる。 (2) ロマ 10:10-15 聞いたことのない方を、どのようにして信じるのでしょうか。宣べ伝える人がいなければ、どのようにして聞くのでしょうか。遣わされることがなければ、どのようにして宣べ伝えられるのでしょうか。「なんと美しいことか、良い知らせを伝える人たちの足は」だれでも主の名を呼ぶ者は救われる。 2) だれも ×-箱舟にだれも入つて来なかつた。 3) 洪水のために皆死んだが、ノアの家族は洪水のゆえに生きた。ネフィリム文化自体を縛つた。その後に新しい時代が開かれる。 <p>□結論_時代</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一つの家系 2. 一つの国-人が暗闇を碎くことができる。 3. 一つの地域に 1 人-神様が備えておかけた 7 ポイントの人(残りの者、巡礼者、暗闇を知っている征服者、神様が派遣された者である全世界に散らされた者、この話をわかつた 1 人が出てくれれば見張り人になって、わざわいに陥つた國を生かしに行く偵察人になる。もちろんの民のために旗を揚げなさい。) <p>△今、ネフィリム時代が来ている。ネフィリムの病気がとても多くなつた。ネフィリム文化を止めなければならない。それゆえ、箱舟を作りなさい。この地域を生かさなければならない。知つて祈るだけで良い。イエス キリストの御名を一度伝えて働きが起つる。</p>